

四季の風



■発行責任者/病院長 豊田 秀徳
■編集/大垣市民病院広報・企画委員会

広報 第87号

●発行 令和6年7月1日●

CONTENTS

一次脳卒中センター(PSC)コアと脳卒中相談窓口 …P1
「患者満足度調査」結果報告 ……P2

地域連携医療機関紹介 ……P3
あなたの大切な心臓のために出来ること 心臓リハビリテーションとは? …P4

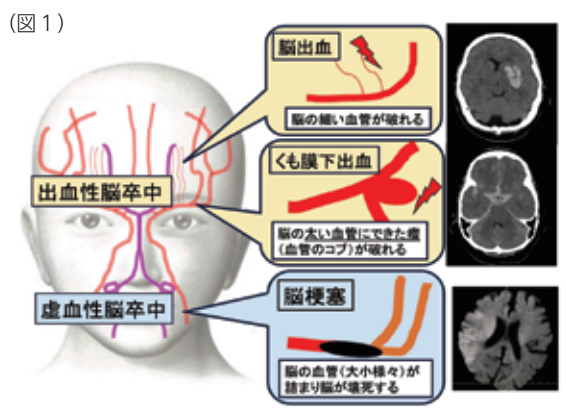
診療部 専門医が教える家庭の医学

一次脳卒中センター(PSC)コアと脳卒中相談窓口

脳神経外科 医長 今井 資

脳卒中

「脳に卒(突)然、中(あ)たる病気」の総称で、血管が破れる出血性脳卒中(くも膜下出血/脳出血)と血管が詰まる虚血性脳卒中(脳梗塞)に分けられます(図1)が、治療開始までの時間が生命予後や後遺症に大きく影響します。顔の歪み、話しにくさ、手足の動きが悪いなどの症状は脳卒中の



可能性が高く、早期の医療機関受診が重要です(図2:FAST 脳卒中を疑う時の頭文字をとった合言葉)。また、脳卒中は死亡原因の第3位、寝たきりの原因の4割を占めています。当院では脳卒中患者さんを年間約600件(くも膜下出血:50-60例、脳梗塞:400-450例、脳出血:150-170例)受け入れており、救命救急



センター、脳神経外科、神経内科を中心に迅速な治療介入可能な診療体制を整え、周辺医療機関で対応困難な脳卒中も積極的に受け入れています。脳出血、くも膜下出血、特殊な治療適応(t-PA静注療法や急性期カテーテル治療)の脳梗塞は脳神経外科で管理し、その適応とならない脳梗塞は原則内科で管理しています。

一次脳卒中センター(PSC: Primary Stroke Center) コア施設

2018年に「脳卒中・循環器病対策基本法」が制定され国全体で脳卒中に対する治療/リハビリ/予防に力を入れ、どの地域でも同じ質の医療が受けられるよう各都道府県の医療圏ごとに脳卒中診療のセンター化の整備が進んでいます。2019年より脳梗塞に対するt-PA静注療法(強力な血栓溶解薬の点滴治療)を施行できる一次脳卒中センター(PSC)施設の認定が全国で開始されました。PSC施設のうち地域の中核となる病院で重症脳梗塞に対するカテーテル治療

を24時間365日施行可能な施設がPSCコア施設と認定されます。当院は2023年8月に日本脳卒中学会よりPSCコア施設の認定を受けました。岐阜県内PSCコア施設は4施設のみ(2023年度)で、西濃地区では唯一となります。またPSCコア施設は治療のみならず、脳卒中患者さんに対する医療及び介護に関する適切な情報提供を行う脳卒中相談窓口の設置が義務付けられています。

脳卒中相談窓口

脳卒中は治療だけでは終わりません。助かっても後遺症と向き合う患者さんが多く、リハビリテーション病院や施設との連携、在宅支援、再発予防、障害認定なども重要となりますが、患者さんやご家族はどこに相談したらよいか悩むことがあります。脳卒中相談



窓口は脳卒中に関連する様々な相談に対応する部署で、よろず相談・地域連携課に設置しています。相談内容により脳卒中療養相談士の資格をもつ脳卒中専門医、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフ、薬剤師など専門の職種が対応します。特に脳卒中で入院中の患者さんには積極的に働きかけ動画やパンフレットなど用いて再発予防や今後の流れをわかりやすく説明し(図3)、リハビリテーションスタッフが在宅での工夫や日常生活の中でのリハビリ方法などを提案しています。内容は日本脳卒中学会、脳卒中協会でもQRコードで簡単にアクセス出来ますので是非ご活用ください(図4)。



おわりに

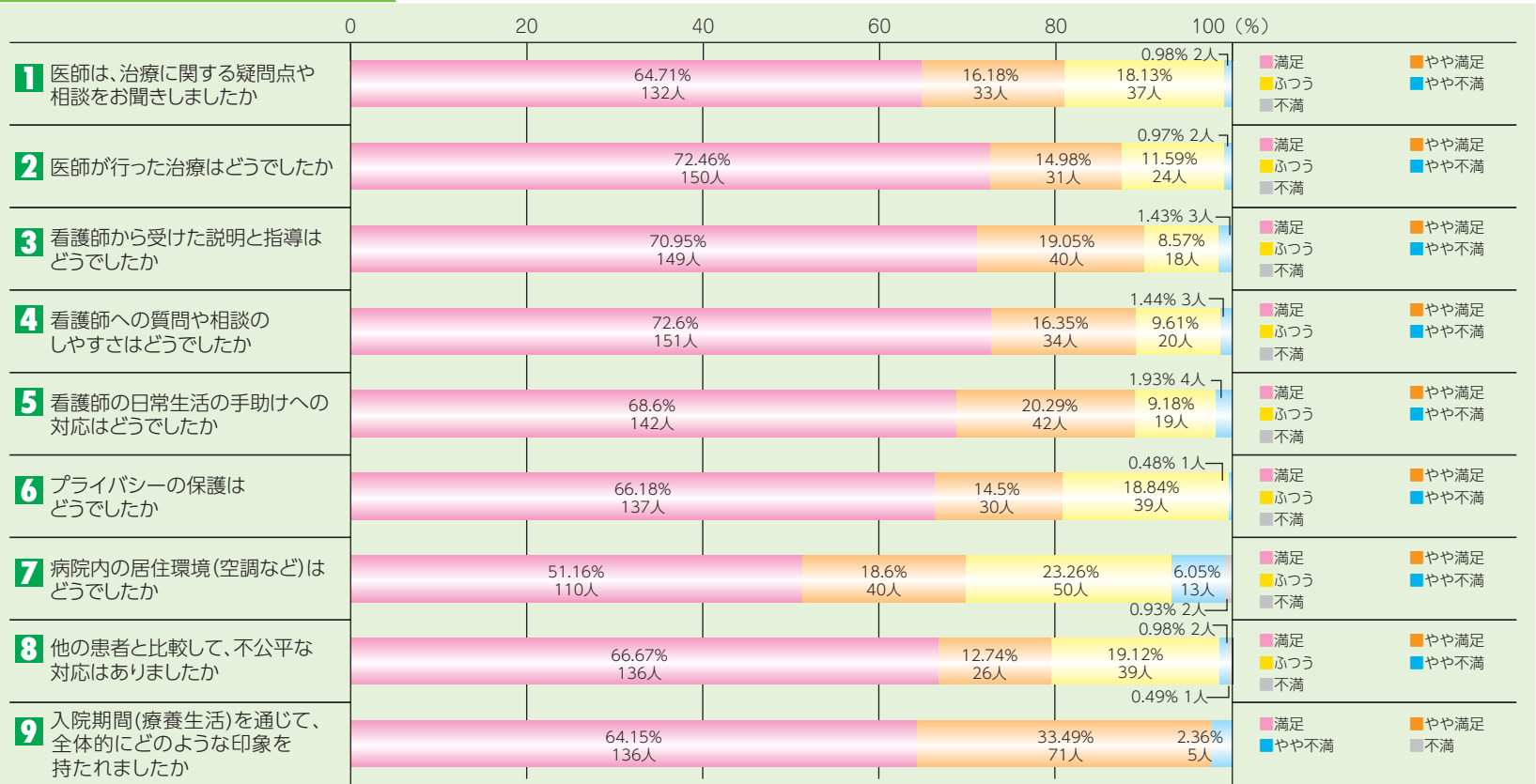
今後も西濃地区における脳卒中の中心医療機関として治療や再発予防のみならず、脳卒中患者さんの生活の質が少しでも向上し、ご家族と共に笑顔で生活が送れるよう、脳卒中チームは多職種で連携をとりながら患者さんの支援を行っていきます。お気軽に脳卒中相談窓口にご相談ください。

患者満足度調査

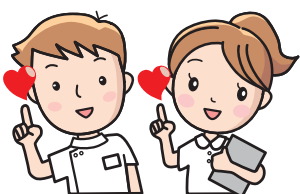
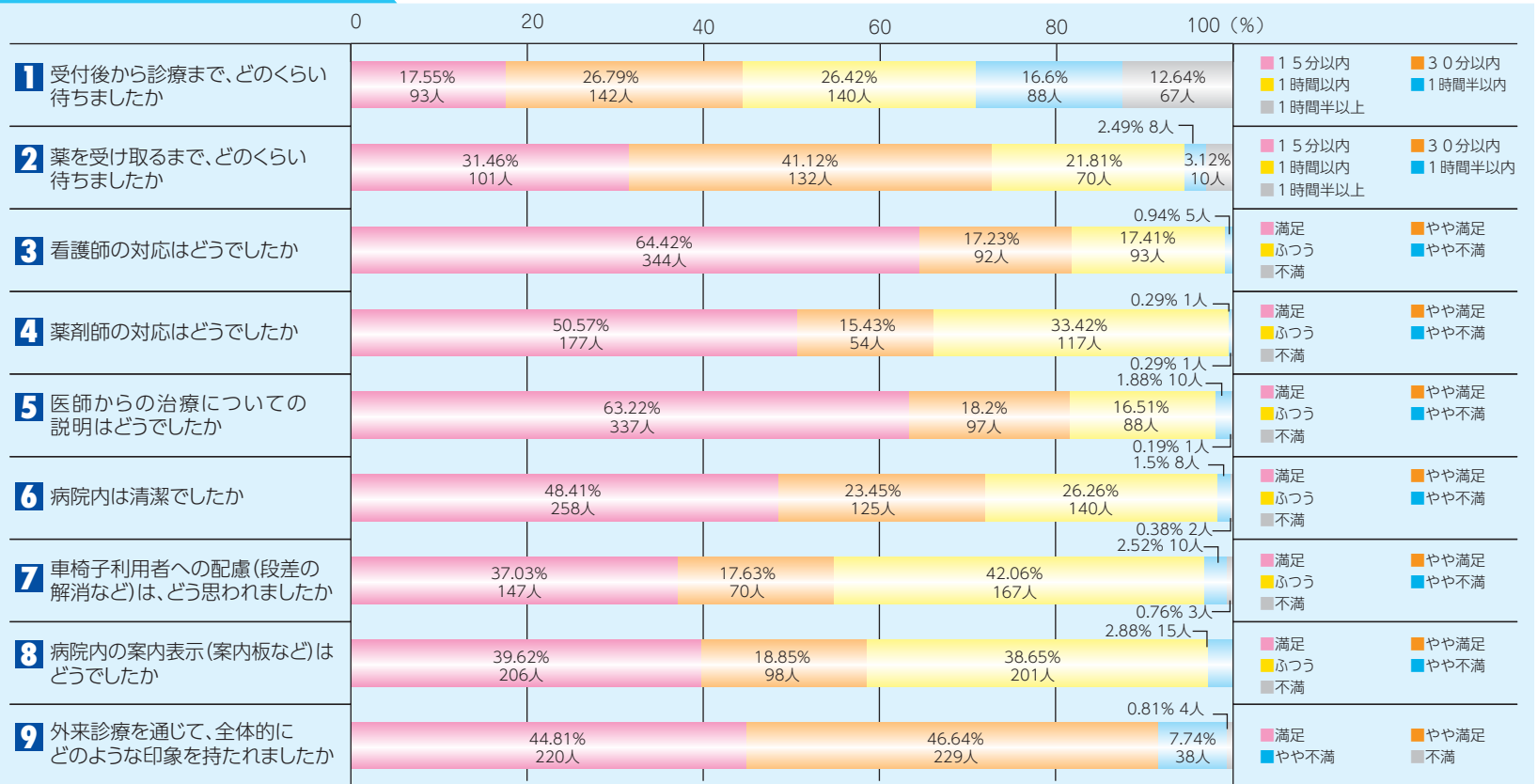
結果報告

当院における問題点の改善や患者満足度の向上に活用するために実施した「患者満足度調査」の結果のうち主な9項目についてご報告いたします。
 調査は、「入院に関するもの」は、令和6年1月18日(木)～24日(水)の期間に退院された患者さん、「外来に関するもの」は、令和6年1月25日(木)、26日(金)に外来受診された患者さんの一部を対象に実施したものです。

入院に関するもの



外来に関するもの



また、ご報告した調査結果のほか、施設的な改善要望や待ち時間、接遇面など様々なご意見・ご要望をいただきました。
 今回の調査結果につきましては、今後の病院運営に活用させていただき、患者さんに対するサービス等の、より一層の充実に努めてまいります。
 最後に、ご協力いただきました患者さんには、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



地域連携医療機関紹介

和田医院

内科・糖尿病内科

医師
和田 育穂
和田 健吾

〒503-0035
大垣市荒尾玉池1丁目34番地
TEL:0584-91-4000

休診日/
日曜日、祝日、木・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:00~6:30	○	○	○	—	○	—	—

先生からの一言

当院は、糖尿病をはじめとして、内科系疾患の診断・治療を行っています。必要に応じて大垣市民病院や他医療機関との連携を図り皆様の健康維持に貢献してまいります。

もりレディースクラブクリニック

産婦人科

医師
森 秀弘

〒503-0021
大垣市河間町1-13
TEL:0584-74-1888

休診日/日曜日、祝日、水・土曜日午後
土曜日の診察は、9:00~13:00



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	—
午後4:30~7:00	○	○	—	○	○	—	—

先生からの一言

新しい家族誕生の喜びを分かち合い、生涯心に残る思い出を作っていただけるよう“愛のあるケア”をモットーに皆様をお待ちいたしております。また、女性の生涯を通してのホームドクターとして地域医療に貢献できるよう、大垣市民病院との密なる連携を大切にし、より質の高い医療と大きな安心をご提供できるように努めて参ります。

北條クリニック

耳鼻咽喉科・眼科

医師
北條 郷明
北條 尚子

〒503-0033
大垣市福田町57番地1
TEL:0584-91-3332

休診日/
木曜日・日曜日、祝日、火・土曜日午後 土曜日は、8:40~13:00



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:40~12:00	○	○	○	—	○	△	—
午後3:10~6:30	○	—	○	—	○	—	—

先生からの一言

当院は耳鼻咽喉科と眼科のそれぞれの専門医で診療を行っています。専門分野をお互いに連携し、さらに市民病院との病診連携も円滑に行っています。地域に根ざした専門性の高い医療を提供できるように、これからも努めていきます。

大垣整形外科

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・内科

医師
古川 武光 竹之下洋美
古川亜矢子

〒503-0027
大垣市笠縫町454番地
TEL:0584-78-3058

休診日/木曜日・日曜日
土曜日の午後は、2:00~3:00
祝日の午前中は 9:00~11:00



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
午後2:00~6:00	○	○	○	—	○	△	—

先生からの一言

開院以来30数年間にわたり約300万人の患者様から得た情報・経験を参考に、より安全な治療法や薬剤を提供できるよう努めてまいります。

しずさと診療所

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

医師
柄澤 正人

〒503-0982
大垣市久徳町153番地1
TEL:0584-93-1170

休診日/
日曜日、祝日、火・木・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後5:00~7:00	○	—	○	—	○	—	—

先生からの一言

外来診療、在宅医療、リハビリテーション、健康診断、予防接種等、地域の皆さまの期待に応えられるよう努めてまいります。医療・介護・福祉・生活のあらゆる観点から患者様に接し、安心・安全のまちづくりに貢献してまいります。

不破医院

内科・糖尿病内科・小児科

医師
不破 義之
不破 雅之

〒503-2124
不破郡垂井町宮代1674の1
TEL:0584-22-0126

休診日/日曜日、祝日、水・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:30~7:00	○	○	—	○	○	—	—

先生からの一言

糖尿病等の生活習慣病を中心に診療しています。加えて非常勤ですが、リウマチ指導医の診療日もあり地域医療に貢献したいと考えています。

医療技術部

あなたの大切な心臓のために出来ること 心臓リハビリテーションとは？

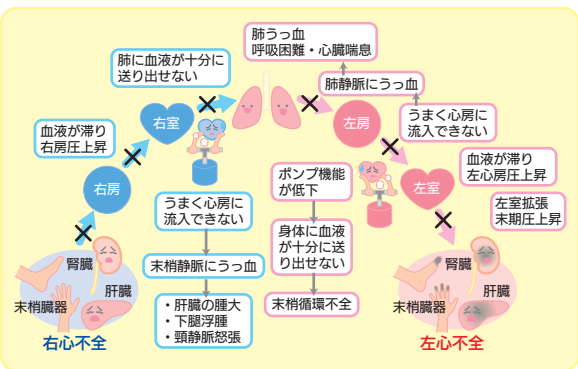
リハビリテーションセンター 理学療法士 高田 大誠



今回は、心不全や心筋梗塞など、心臓に関する病気の方に行う心臓リハビリテーション（以下、心リハ）と岐阜県で行っている取り組みについてご紹介をさせていただきます。

心臓リハビリテーションとは？

2023年4月から2024年の3月にかけて当院では、延べ10,000人以上の方が心臓に関する病気で入院されて心リハを行っています。



寝返りや起き上がりなどの動作練習や歩く練習、自宅の玄関を想定した段差の昇り降りの練習だけではなく、自分で行う運動の指導や生活の中で注意して欲しい動作(例えば、重たいものを持たない、息をこらえない等)なども理学療法士からお話をさせていただきます。24時間ずっと働き続けている心臓とうまく付き合っていくためには

体力や筋力を鍛えることはもちろん重要ですが、いかに心臓に負担をかけないように生活をするかが大切となるので、そのためのお話をすることも心リハにとって非常に大切なこととなります。

CR-GNet(岐阜心臓リハビリテーションネットワーク)について

入院中は食事や内服などが管理されているため調子が良くても、自宅に帰られると調子を崩して再入院となってしまうことが多いのが心臓の病気の特徴です。岐阜県では、退院した後も継続して心臓の調子を保てるようにする取り組みをCR-GNetとして行っています。体調管理ノートを使用し、毎日の血圧や体重を書き込んで診察の際に異常がないか確認をします。また、医療機関と連携をしたスポーツジムで無理のない運動が行えるよう、病気や現在の状態について把握をするために活用しています。西濃地域の基幹病院として、かかりつけ医やスポーツジムとの連携を行いながら今後もより良い心リハを提供できるように取り組んでいきます。



第6回 病院バックヤードツアー ～「最先端の医療現場」で職場体験～

- 【内 容】 医師・看護師などが直接参加者に解説しながら病院内をめぐるツアー。各種体験なども。
- 【見学施設】 手術室（ロボットなど）・放射線科・臨床検査科・薬剤部・災害対策部門・屋上ヘリポートなど
*患者さんへの治療を見学するものではありません。
- 【日 時】 令和6年8月17日（土）8時30分～13時ごろ（受付 8時10分）
- 【対 象】 大垣市内在住または在学の中学生・高校生（2人組の参加もOK）
- 【募集人数】 50名程度 *応募多数の場合は抽選となります。なお、結果はメールにてお知らせします。当選者の方のみ、後日当選ハガキを郵送させていただきます。（2人組でお申し込みの方は代表者の方へ送付）
- 【参加費】 無料
- 【応募方法】 当院のホームページ（お知らせ一覧）より必要事項を記入しお申し込みください。
- 【締 切】 7月22日（月）



手術室内視鏡装置の操作体験(昨年の様子)

<問い合わせ先> 大垣市民病院 事務局庶務課 病院バックヤードツアー受付
TEL: 0584-81-3341 内線 6139

病院の理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

大垣市民病院の基本方針

- 1 地域の基幹病院として、住民の健康と福祉の増進に貢献します。
- 2 患者さんの立場を第一に考え、公正且つ普遍的な医療の提供に努めます。
- 3 医療安全を推進し、安心で安全な医療の提供に努めます。
- 4 医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供に努めます。
- 5 公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。
- 6 地域の医療機関との連携を保ちつつ、患者さんに信頼される医療活動に努めます。

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎ 社会人としての規律を守り、医師としての自主性と高い倫理観を持ち、思いやりのある人格を育てる。
- ◎ プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎ チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。



No smoking

健康増進法に定められた受動喫煙防止対策により、当院の敷地・駐車場内は**全面禁煙**です。ご理解とご協力をお願いします。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。

編集後記

「四季の風」は平成15年に刊行し、今号で87号になります。バックナンバー（36号以降）は右記2次元コードよりご覧になれます。今回は10月1日に発行予定です。今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。



院外広報誌

大垣市民病院広報・企画委員会

〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715
http://www.ogaki-mh.jp/
(電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いいたします)